

各教科等年間指導計画

令和8年度

東京都立田無特別支援学校

3 年 組

グループ

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	3年	教科等名	国語
グループ名、人数		8グループ 8名		担当教員	◎三国
ねらい		(1)生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、我が国の言語文化に親しみ、理解できるようにする。 (2)筋道を立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げることができるようにする。 (2)言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。			
年間授業時数		70 単位時間	使用教科書	ひとり立ちするための国語	
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
通年	・漢字の読み書き	通年	○漢字や語句の読み書きをする。 ▲個々のレベルに合わせた漢字の読み書きができる。	・タブレット端末のアプリやワークシートを準備し、繰り返し練習する。	
4	復習 文法（接続詞、主語・述語・修飾語）や敬語の理解	6	○簡単な文を接続詞を使ってつなげる。 ▲文脈を理解して接続詞を適切に使う。 ○敬語を適切に使い分ける。 ▲場や相手に応じて敬語を使い分ける。	・ワークシートや視聴覚教材を活用する。	
5	作文・意見文を書く	5	○行事や出来事を振り返り、作文や意見文を書く。 ▲順序だてて、書くことができる。	・ワークシートや見本を使ってまとめるようにする。	
6	お礼状を書く	8	○時候の挨拶を知り、お礼状を書く。 ▲書き方のマナーに気を付けて、ボールペンで丁寧に書くことができる。	・ワークシートを用いて、様々な時候の挨拶を学べるようにする。	
7	本を読む 本の紹介	13	○物語を読み、本の紹介POPを作る。 ▲題名や作者名、おすすめする理由をまとめることができる。	・生徒が興味をもちやすい題材を用意する。 ・作品例を提示する	
9	POP作り				
10	絵を見て分析しよう	8	○絵を観察し、分析的に考え発表する。 ▲絵を観察し、自分の視点の理由を考えることができる。	・ワークシートや視聴覚教材を活用する。	
11	説明、報告の仕方について	6	○相手に伝わりやすい説明文を考える。 ▲要点を的確に捉え、ポイントを絞って説明することができる。	・ワークシートに読み取る項目を示し、要点を意識しながら考えられるようにする。	
12	物語を作る	5	○絵を見て、自由な発想で物語を作る。 ▲いつ、どこ、誰、何を意識して文を作る。	・文例を提示したり、登場人物の心情や動きに注目できるようポイントを伝える。	
1	書写 百人一首	7	○毛筆で文字を書き伝統文化に触れる。 ▲自分なりの文字を表現する。 ○百人一首を通し、和歌や日本の文化に親しむ。 ▲日本の伝統文化を知ることができる。	・書き順などを丁寧に伝える。 ・タブレット端末を活用する。	
2	ことわざ、慣用句	8	○ことわざや慣用句の意味や使い方を知る。 ▲ことわざや慣用句を使った文を作ることができる。	・プリントを用いて、使い方の例を学ぶことができるようにする。	
3	1年間のまとめ	4	○1年間の学習内容を総括する。 ▲学習したことを振り返り、印象に残った学習を具体的に発表することができる。	・学習ファイルを整理しながら、学習したことを振り返る。	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	3年	教科等名	社会
グループ名、人数		8グループ8名		担当教員	◎渡邊俊和
ねらい		(1) 現代社会の諸問題について、原因や対策について学ぶ。 (2) 環境や文化による社会の多様さについて学ぶ。 (3) 生活に身近な制度や法規が自らの生活を守っていることを学ぶ。			
年間授業時数		18 単位時間	使用教科書	なし	
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
10	現代社会の諸問題①	3	○環境問題(海洋汚染) ▲自分の生活と環境問題がどうかかわっているのかを調べたり考えたりすることができる。	・写真や動画などの視覚教材を用意し、どんな問題が発生しているのかを示す。	
11	現代社会の諸問題②	4	○先進国の少子高齢化と新興国の人口爆発 ▲人口問題の何が問題なのかが分かり、各国の原因と対策を調べることができる。	・ICT機器を活用できるように、手順をモニターで移すなど自発的にICT機器が利用できるように配慮する。	
12	日本の気候・世界の気候～生活の違い	3	○日本の気候の特徴について知る ○世界の気候帯と特徴を学ぶ ▲どこにどのような気候的特徴があるのかを調べることができる ▲各気候帯の特徴や生産されているものを説明することができる。	・ICT機器を用い、映像で日本や世界の気候の特徴を指導する。 ・なぜ、気候が違うのかを地球儀や図を使って説明する。	
1 2	各国の食べ物の違い	4	○世界での食べ物の多様性 ○食べ物の違いが生じる原因→文化的要因、環境的要因 ▲地図やICT機器を活用し、食べ物の違いを調べたり、考えたりすることができる	・各地の有名な食べ物から気候を考える。 ・宗教によって食べられないものがあることを動画資料で示す。	
3	社会参加のきまり	4	○社会生活に必要な決まりを学ぶ。 ▲共感しやすい判例を示し、法の適用の仕組みを知ることができる。 ▲権利を制限することは、他者の権利を守ることでもあることを説明することができる。	・ルールは行動を縛るものであると同時に、自らを守るものであることを知る。 ・生成AIに、要約させたり、分かりやすく説明させたりする。	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	3年	教科等名	数学
グループ名、人数	8グループ8名		担当教員	◎保谷太嬉	
ねらい	(1) 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解する。 (2) 日常の事象を数学的に表現・処理する技能を身に付ける。 (3) 数学の楽しさを実感し、生活や学習に活用しようとする態度を養う。				
年間授業時数	70単位時間	使用教科書	ひとりだちするための算数・数学		
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
通 年	数と計算 数学的活動 (パズル等) 時刻の計算 お金の計算	通年	○ワークシートに取り組む。 ○ゲームや論理など、複数で協力して推理する問題に取り組む。 ▲意欲的に計算やゲームに取り組むことができる。	・興味のある物を教材にすることで関心を高める。 ・支援が必要な生徒には個別に対応する。	
4 5	重さと量	10	○身の回りの事物の重さや量を比較しながら覚える。 ▲重さや量などを表す単位を理解することができる。	・日常生活で実際に役に立てるようにイメージさせながら取り組む。	
6 7	長さ	12	○身近な物に使われている単位を理解する。 ▲正しい単位を選択することができる。	・単位と具体物を実際にマッチングできるようにイラストや具体物を活用する。	
9	図形 (平面図形) (立体図形)	10	○平行や垂直な直線の作図を練習し、正方形や平行四辺形など作図する。 ▲図形や模型を見て、位置関係や図形の性質を理解できる。 ▲電卓を使った計算が時間内に正しくできる。	・直線か曲線か、頂点がいくつあるかなど図形の特徴に注目し、比較することで理解できるようにする。 ・理解度に合わせた問題に取り組む。	
10	資料の作成 (表、グラフの作成) (資料の分析) (平均、四捨五入)	8	○グラフの数値を読み取って、表を作成する。 ▲データを集約し、グラフを描くことができる。 ○作業班の売り上げ等をグラフで紹介し合う。 ▲数値を的確に入力し、グラフを作成する。	・色を付けたり、文字を変えたりするなど、視覚的に理解しやすいよう工夫する。	
11 12	時計と時刻 (時間の計算) (時刻表)	15	○具体的な例を使って時間の計算をし、その後ワークシートにて様々な場合について練習する。 ▲簡単な時間の計算や日にちの計算が正しくできる。	・理解度に合わせて、難易度を調整する。	
1 2 3	金銭の応用 (釣り銭) (税率、割引) (割り勘)	15	○品物と値段を提示して消費税や割引の計算の仕方を練習する。 ▲電卓を使って消費税を求める方法を理解できる。 ▲電卓を使った計算が時間内に正しくできる。	・店舗のチラシやICT機器等を使用し、実生活に関連付ける。 ・理解度に合わせた問題に取り組む。	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	3年	教科等名	理科
グループ名、人数	8グループ 8名		担当教員	◎野瀬	
ねらい	(1) 自然の事物・減少について基本的な理解を図る。 (2) 観察、実験などをおこない、解決方法を考える力を養う。 (3) 自然を愛する心情を養う。				
年間授業時数	18 単位時間	使用教科書	なし		
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
4 5	人の体のつくりと働き	7	○人や他の動物について、体のつくりと呼吸、消化、排出及び循環の働きに着目して、生命を維持する働きを多面的に調べる活動を行う。 ▲人や動物の体のおおまかなつくりや呼吸の働き等を理解できる。	・分かりやすいように図や動画等を活用する。	
5 6	人と環境	6	○動物や植物の生活を観察したり資料を活用したりする中で、生物と環境との関わりに着目して、それらを多面的に調べる活動を行う。 ▲動物、植物、その他自然環境は循環していることを調べ、そのバランスが崩れることによる影響等を考えることができる。	・人は環境と関わり工夫して生活していることが分かるようにする。 ・図や動画などを使って、イメージしやすいように行う。	
7 9	天気の変化	5	○雲の量や動きに着目して天気の変化と関連付ける。 ▲雲の量や動きなどで天気を予測できる。 ▲防災にもかかわることが知ることができる。	・実際の天気や雲の動きを観察する。 ・動画や映像資料を用いて、分かりやすく示す。	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	3年	教科等名	音楽
グループ名、人数	7・8グループ16名		担当教員	◎矢島、内藤、村上	
ねらい	(1) 曲想や背景など音楽の多様性について理解するとともに、必要な音楽表現の技能(歌唱、器楽、創作等)を身に付ける。 (2) 音楽を自分なりに評価しながら、美しい曲や好きな曲を味わって聴くことができる。 (3) 主体的・協働的に取り組み、音楽文化を親しむとともに音楽によって生活を明るく豊かなものにする態度を養う。				
年間授業時数	70 単位時間		使用教科書	くらしに役立つ音楽「東洋館出版社」	
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
通年	発声練習 鑑賞「生演奏」 共通教材 「日本歌曲」 「世界の曲」	通年	○姿勢や発声法を意識して歌う。 ▲音の高低、リズムの違いに気付き、発声をする。 ○我が国や諸外国の様々な音楽に触れ、独自の文化や多種多様性についての理解を深める。 ▲興味関心をもって、意欲的に鑑賞している。	・発声のしやすいリズムや旋律を伴奏や模範歌唱で提示する。 ・演奏に注目できるように環境を整える。	
4	身体表現 「体育祭の曲」	24	○教員を模倣し、振り付けを覚えて踊る。 ▲音楽を聴いて、自分なりに身体を動かそうとしている。	・教員が正面で踊り、模倣できるようにする。	
5	器楽 「和太鼓」		○伝統的な奏法で、間や序破急(速度の緩急、強弱)を表現する。 ▲伝統的な奏法を意識して演奏することができる。	・鉦や伴奏を活用し、リズムにのって演奏できるよう支援する。	
6	歌唱		○曲想を考えてのびやかに歌う。 ▲曲想や強弱を意識して歌おうとしている。	・正面で手本を示し、歌詞に合わせて部分的に繰り返し練習する。	
7					
9	器楽 「合奏」	28	○有音程の楽器と合わせ、打楽器等も活用し、アンサンブルをする。 ▲楽器の奏法を理解し、楽譜を見て自分で演奏することができる。	・生徒の実態に合わせて色、表形式などの楽譜を使用する。	
10	鑑賞 「音楽鑑賞会」		○様々な国の音楽に触れ、様々な楽器の音色に親しむ。 ▲静かに鑑賞することができる。	・教員が生演奏を行い、静かに鑑賞する練習をする。	
11	歌唱・身体表現 「文化祭の歌 他」		○リズムにのって歌ったり身体を動かしたりする。 ▲自分のパートの役割を意識しながら、表現することができる。	・視聴覚機器を用いてイメージをもちやすくする。	
12					
1	歌唱・鑑賞 「卒業式の歌」	18	○合唱の楽しさを感じ取り、声の重なりを意識して歌う。 ▲ハーモニーを感じながら仲間と声を合わせて歌うことができる。	・視聴覚機器で映像を使用し、合唱のイメージをつかみやすくする。	
2					
3	「国歌」				

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	3年	教科等名	美術
グループ名、人数	7・8グループ 16名		担当教員	◎牧野 佐藤 星野	
ねらい	<p>(1) 造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表すことができるようにする。</p> <p>(2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫などについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化などに対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。</p>				
年間授業時数	70 単位時間	使用教科書	美術資料 東京の美術 (秀学社)		
月	単元 (題材) 名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
通年	鑑賞 アートスキルト レーニング	通年	<p>○作品を生活の中で生かす。</p> <p>▲作品を介したコミュニケーションができる。</p> <p>○自己表現の体験を積み重ね、表出することに対する自信を高める。</p> <p>▲造形活動に主体的に取り組める</p> <p>○自他の作品の価値に気づく。</p> <p>▲個々の作品の違いや良さを感じられる。</p>	<p>・制作を介して人と関わり、作品を生かせる場をつくる。</p> <p>・繰り返し行える活動にするなど、主体的に行えるように工夫する。</p>	
4 5 6 7	オリエンテーション	4	<p>○簡単な制作を通して主体的に活動に取り組み、授業のルールを知る。</p> <p>▲制作活動に興味関心をもち活動に主体的に参加できる。</p>	<p>・成功体験を通し、活動に意欲的に向かえるようにする。</p>	
9	ICT 機器を使った情報収集と利用	8	<p>○ICT 機器を利用した情報の収集と共有、作品制作。</p> <p>▲集めた情報の管理・活用できる。</p> <p>▲情報の適切な扱い方を学ぶことができる。</p>	<p>・操作方法を動画などで分かりやすく提示する。</p> <p>・反復し技術習得できるようにする。</p>	
	絵画制作	14	<p>○キャンパスに描く。</p> <p>▲自分の興味関心をオリジナル作品として表すことができる。</p> <p>▲描画方法を選択して制作できる。</p>	<p>・デザインや制作方法を選択しやすいよう、素材の提案をする。</p>	
10 11 12	文化祭に向けた取り組み	14	<p>○文化祭舞台道具を制作する。</p> <p>▲制作分担に従い、協力し合って互いの力を発揮して取り組める。</p>	<p>・発表の内容を授業で伝えることで、行事への理解につなげる。</p>	
	立体制作	14	<p>○粘土や羊毛等を使った羊の制作。</p> <p>▲説明を見聞きし主体的に制作に取り組むことができる。</p> <p>▲完成形や動きなどをイメージしながら制作に取り組むことができる。</p>	<p>・制作工程をイメージできる動画などを提示する。</p>	
1 2 3	卒業記念制作	16	<p>○記念作品を作る。</p> <p>▲使うことを意識して制作できる。</p> <p>▲掲示を見て、準備や手順を理解して制作することができる。</p> <p>▲暮らしの中で美術的活動を楽しむことができる。</p>	<p>・手順が分かりやすいよう、視覚教材を充実させる。</p> <p>・道具を一定の場所に置き、準備しやすいようにする。</p>	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	3年	教科等名	保健体育
グループ名、人数	7・8グループ 16名		担当教員	◎奥山 (火) 畠山 (金) 畠山	
ねらい	(1) 合理的な身体の使い方の理解を深め、目的に応じた運動の仕方を身に付ける。 (2) 自他の運動課題を発見し、解決のために考え判断したことを他者に伝えることができる。 (3) 自己の役割を果たし、卒業後も運動に親しむ意欲、態度、スキルを養う。				
年間授業時数	105 単位時間	使用教科書	くらしに役立つ保健体育 (東洋館出版社)		
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
通年	体づくり運動 集団行動		○ヨガ、ストレッチ運動、体幹トレーニング等 ○集団行動 ▲特性に応じた動きをしている。	・動きごとに、キーワードを提示して、合理的に動けるようにする。	
前期	保健	1	○心身の健康について ▲ストレスマネジメントや疾病について学び、日常生活に生かすことができる。	・チェックシートを用いる。 ・具体例を挙げ、自分の生活に結び付けられるようにする。	
後期	保健	2	○人との適切な関わり方 異性、他者との距離感について ▲卒業後の生活に向けて具体的な対策を考えている。	・事例を基にロールプレイを実施して確認できるようにする ・具体的な身の守り方を学ぶ	
4 5	陸上競技	11	○短距離走 ▲短距離走の決まりを守り、自己の力を発揮することができる。	・カラーコーンや色ラインでコースを分かりやすくする。	
5 6	新体力テスト	8	○新体力テスト(握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、シャトルラン、立ち幅跳び、ボール投げ) ▲自己の体力の状態を理解し、改善のための方策を考えている。	・各テスト項目の動きのポイントを提示し、適切に測定できるようにする。	
6 7	水泳	22	○水泳(蹴伸び、キック、4泳法) ▲身体を大きく動かし、合理的な泳ぎができています。	・測定の機会を随時設定し、泳力の向上を実感できるようにする。	
9 10 11	器械運動	31	○マット運動・跳び箱・平均台 ▲滑らかに動いている。技をつないで演技を構成できる。	・滑らかに動いているか、動画で確認し修正できるようにする。	
12	球技	15	○ゴール型(サッカー・バスケットボール・ニュースポーツ・障害者スポーツ、選択種目) ▲球技の決まりや簡単なルールを守り、自主的に運動ができる。	・コート大きさやボールの大きさなど、生徒の実態に応じて適切な環境設定を行う。	
1 2 3	陸上競技 武道	12 3	○長距離走 ▲記録向上に向けて工夫して走っている。 ○剣道、柔道、相撲、空手など ▲礼儀作法や所作など、基本的な動きができる。	・毎回本人が目標設定し、自己評価できるようにする。 ・DVDを活用して視覚的に示す。	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	3年	教科等名	職業
グループ名、人数		7.8グループ16名		担当教員	◎小田部 ○渡邊
ねらい		(1) 就職活動や福祉サービス、生活設計に関する知識や技能を身につける。 (2) 学習や現場実習を振り返り、進路先決定と将来設計を表現する力を養う。 (3) 自己理解を深め、将来設計を具体的にしていく態度を養う。			
年間授業時数		87.5 単位時間	使用教科書	知的障害・発達障害の人たちのための見てわかる社会生活ガイド集	
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
通年	職業生活 情報機器の活用。 ソーシャルスキル	毎時 7限 職業	○挨拶を通して、「切り替え」を学ぶ。 ▲授業の開始で「切り替え」ができる。 ○情報機器の活用 ▲入力方法や情報収集の方法を知る。 ○卒業後の様々な場面において、事例やケースを通して、対処方法や対応を学ぶ。 ▲対処方法や対応を考え、学ぶ。	・挨拶で授業への「切り替え」を身につける。 ・情報収集の方法として端末を活用する。 ・事例やケースを通して、考える。	
4	オリエンテーション 3年生の「職業」	8	○3年「職業」の学習内容 ▲学習内容について見通しをもつ。	・ワークシートに記入、情報機器に入力する。	
5 6	就職活動について①	20	○実習生資料について ▲「自己理解」を深めることができる。 ○就職活動の仕組み・構造・手続きについて ▲就職活動の流れ、手続き方法を理解する。	・「ICFの観点」等から「障害者雇用」について考え、自己理解につなげる。 ・資料(流れ、求職申込書、求人票)を活用し手続きを理解する。	
7	生活設計について①	8	○生活設計-相談・お金・暮らし- ▲福祉サービスについて学ぶ。 ▲福祉課訪問の準備をする。	・ICTを活用し、福祉サービスを学ぶ。	
9	就職活動について②	8	○履歴書、内定後について ▲履歴書の書き方を学ぶ。 ▲内定後の学校生活について知る。	・先輩達の履歴書を参考に履歴書を記入する。 ・資料「内定取消し」で学ぶ。	
10	生活設計について②～⑥	10	○生活設計-お金・暮らし- ▲給料・工賃の使い方、社会保険について学ぶ。 ▲グループホームや通勤寮、一人暮らし等について考える。 ○生活設計-趣味・学び・楽しみ- ▲余暇の過ごし方やレジャースについて考える。	・ICTを活用し、情報収集する。 ・写真やビデオ等で様子を具体的にイメージできるようにする。 ・コーピングで「楽しみ」について情報収集する。 ・レジャースを知る。	
11	私の応援団	10	○相談支援事業所、就労支援センターについて学ぶ。 ▲卒業後の相談先を知る。	・ICT、資料などで相談先があることを学ぶ。 ※ゲストティーチャー活用	
12 1	私の将来設計	11	○将来設計(4つの四角)について考える ▲4つの領域をまとめる。	・これまでの学習内容をワークシート(4つの四角)に入れ込み、将来設計をまとめる。	
2 3	「移行計画」をつくる	7.5	○これまでの学習をまとめ「移行計画」をつくる。 ▲学習内容を振り返り、「移行計画」にまとめる。	・これまでの学習内容をワークシート(4つの四角)から、移行計画をつくる。	

令和7年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	3年	教科等名	情報
グループ名、人数		7, 8グループ 16名		担当教員	◎渡邊 横井
ねらい		(1) 基礎的な技能を身に付けるとともに、情報社会と人との関わりについて理解する。 (2) 問題を解決するために必要な情報と情報技術を活用する力を養う。 (3) 身近にある情報や情報技術を適切に活用する。			
年間授業時数		35 単位時間	使用教科書	なし	
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点		指導の工夫
通 年	入力練習	通年	○ワープロ検定の4級の問題を毎回10分間やる ▲キーボードの機能を理解している。 ○行事、クラス活動等の内容を調べて、事前事後学習に活用する。 ▲Webサイト等を利用し、繰り返し練習することができる。		・読めない漢字はタブレット端末のアプリ等で調べる。 ・調べた内容を伝わりやすいように促す。
4	オリエンテーション 昨年度の復習	3	○ワードやパワーポイント、去年学んだことを復習する。 ▲興味をもち、積極的に取り組む姿勢がある。		・一人一台のタブレット端末を使用する。
5	情報モラル	3	○SNSでの情報モラルについて考える。 ○情報に関する身近な法規やマナー、モラルについて考える。 ▲SNS上でのトラブル等を知ることができる。 ▲情報の正しい活用方法を考えることができる。		・ニュースや時事問題を取り入れる。 ・タブレットを使用して、ニュースなどを調べる。
6 7 9	表計算ソフトの活用	10	○表計算ソフトの基礎知識について学び、一覧表や、計算をすることができる。 ▲パソコンについて基本を学ぶことができる。		・情報テキスト、過去題を活用する。 ・合格するまで繰り返し取り組む。
10 11 12 1	プログラミング学習	8	○スクラッチを通してネコが動いたり跳ねたりするプログラムを作成する。 ○ロボットへのプログラミング入力を通して、プログラミング的思考を身に付ける。 ▲グループ内で相談しながら解決法を探ることができる。		・理解しやすいタブレット端末のアプリを活用する。
2 3	調べ学習 まとめ	11	○行事の行先や内容等を調べ、計画を立て、事前事後に活かす。 ▲興味をもち、積極的に取り組む姿勢がある。 ○1年間のまとめを行う ▲プレゼンテーションソフトを使用して、見やすく伝わりやすいまとめ報告を行う。		・行事等で必要と思われる内容を伝え、調べるためのきっかけをつくる。 ・年間を通して、授業の振り返りを行う。

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	3年	教科等名	家庭
グループ名、人数	7、8グループ 16名		担当教員	◎敦賀 阿部(5時間目) 矢島(6時間目)	
ねらい	(1) 家庭の機能についての理解を深め生活の自立に必要な家族・家庭・衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図る (2) 生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を考える力を養う。 (3) よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考える実践的な態度を養う。				
年間授業時数	70 単位時間	使用教科書	外食のカロリーガイド<改訂版>		
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
通年	身支度、準備、片付け、清掃	通年	○身支度、準備、片付け、清掃、ゴミ捨てをする。 ▲身支度や安全な道具の使い方、ゴミ捨てができる。	・準備、片付け、掃除の手順表を絵や写真で分かりやすく掲示する。	
4	刺繍エンターション 日用品の制作 「刺繍・ボタンつけ」	6	○被服室・調理室の使い方。 ▲ルールや安全な使い方を知る。 ○スウェーデン刺繍の練習。 ▲丁寧に刺繍に取り組む。	・見本を示し具体的に伝える ・縫い方や縫う方向等、印をつけて示す。	
5	日用品の制作 「ランチトートバック」	10	○刺繍やステンシルの模様をつける。 ▲丁寧に刺繍ができる。	・見本を示し具体的に伝える ・縫い方や縫う方向等、印をつけて示す。 ・実際に正しい方法を師範する。	
6					
7			○手順にそってランチトートバックを作る。 ▲丁寧に刺繍やステンシルができる。	・縫う方向等、印をつけて示す。	
9			○アイロンやミシンを使って作品を作る。 ▲ミシンで直線縫いができる。	・実際に正しい方法を師範し手順を分かりやすく示す。 ・縫う方向等、印をつけて示す。	
10	日常食の調理	6	○レトルトや冷凍食品、電子レンジを使った料理をする。 ▲道具を安全に使って調理することができる。	・写真付き手順表や動画等を活用し分かりやすく提示する。	
11		8			
12	日常食の調理 「電子レンジを使った調理」 冷凍食品でつくるお弁当	6	○電子レンジの使い方を知る。 ▲電子レンジの安全な使い方ができる。	・動画等を通し、危険性について触れる。	
1		6			
2		8			
3	消費生活・環境 「消費者の基本的な権利」	6	○自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解する。 ○購入方法や支払い方法の違い。 ▲いろいろな金銭の支払い方があることについて理解する。	・消費生活センターと連携して具体的な事例を挙げる。 ・教室内で買い物場面を設定し、金銭模型を用いて買い物の経験をする。	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	3年	教科等名	特別活動（ホームルーム）
グループ名、人数	各学級 60名		担当教員	各学級担任	
ねらい	(1) 自分たちで考え、協力して行動する。 (2) 様々な活動を通して、社会のルールやマナーを理解する。 (3) 集団の中で自分の責任を果たしたり、問題解決の方法などを学んだりする。 (4) 交友関係を広げ、高校生活を楽しむ。				
年間授業時数	35 単位時間	使用教科書	なし		
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点		指導の工夫
4	高等部の学校生活を楽しもう	3	○学年オリエンテーション （高3の授業や行事を知る） ○学級目標決め ○個人目標決め ○係活動決め ▲高3の授業や行事を理解する。 ▲お互いに協力して活動する。 ▲意見を述べたり選択したりする。		・視聴覚機器を使用したプレゼンテーションを用いるなど、それぞれの生徒の障害特性や発達の状況に合わせて理解が促せるよう、教材を工夫する。
5 ～ 3	学級で活動しよう	20	○学級活動（体育祭、現場実習、文化祭などの活動の理解と準備、反省） ▲活動に見通しをもつことができる。 ▲自分の意志や意見をもつ。 ▲お互いに協力して活動する。		・視聴覚教材を利用して活動内容の理解を促す。 ・選択肢を示し、意見や意思を表出しやすくする。 ・ICT機器を利用する。
9	防災について考え、防災訓練をしよう	2	○災害についてそれらに関連した事象について知り、防災に対する意識を高める。 ○避難訓練、消火訓練に参加する。 ▲避難経路を知り、消火訓練等の体験ができる。		・視聴覚教材を利用してイメージがもてるよう促す。 ・ICT機器を活用する。
7 12 3	学年集会をしよう	8	○学年集会についての話し合い ○学年集会の準備 ○学年集会の進行 ▲活動内容を考えることができる。 ▲意見を発表したり選択したりすることができる。 ▲自分の役割を果たす。		・お互いの意見を尊重しながらまとめることができるよう助言する。 ・参加が可能な活動になるよう促す。
3	3年生のまとめ	2	○学級目標や個人目標、係活動の反省 ▲自分について振り返り、他者の良い点に気付くことができる。		・行事や学習場面の写真や映像等を振り返り、自己評価、他者評価ができるよう促す。

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	3年	教科等名	生活単元学習
グループ名、人数	S・O類型 57名		担当教員	B, C, D, E, F, G, H, I 組担任	
ねらい	(1) 社会人になるための準備として様々なことを経験する。 (2) 行事の内容を知り、意欲や目標をもって主体的に活動する。 (3) 季節行事に係る活動を通し、日本や外国の文化に触れる。				
年間授業時数	35 単位時間	使用教科書			
月	単元名 (題材)	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
4	3年生になって	2	○授業内容や行事について知る。 ▲説明にそって必要事項を記入する。	・各自のしおりに記入する。	
5	体育祭を成功させよう	2	○体育祭の事前・事後学習 ▲内容に見通しをもって活動できる。 ▲友達と協力して活動できる。	・体育の学習と関連をもたせて指導する。	
5 6 7	世界の国を知ろう	7	○外国の行事や文化に触れる (ALTによる学習) ○ALTの母国であるアイルランドの文化や言語などについて学び、国際社会への理解と関心を高める。 ○アイルランドを含む5か国を選び、国旗や言語、食文化、日本とのつながりを調べる。 ▲外国人講師と交流する。 ▲国名と国旗を一致できる。	・興味関心のある題材をとりあげる。 ・家庭と連携する。 ・ICT機器を用いる。 ・図書教材を利用する。	
9 10	現場実習を成功させよう	8	○現場実習先の名称、場所、内容を知る ○実習先での言葉遣いや態度、マナーなどを学ぶ ▲自分のできたことや課題を理解し、今後の学校生活に活かす。	・事後学習で本人と成果や課題を明らかにし、家庭と連携する。 ・ICT機器を用いる。	
11 12	文化祭を成功させよう	7	○文化祭事前・事後学習 ○劇において演技や台詞で表現する。 ▲自分の役を意識し、表現する。 ▲友達と協力して作り上げる喜びや、達成感を味わう。	・得意なことを活かした活動に取り組む。 ・皆で協力してひとつのものを作り上げることの意義を説明する。	
1 2	校外学習に行こう	5	○活動場所や内容を知る。 ○係活動に協力して取り組む。 ▲自分の役割を理解し、主体的に活動する。	・視覚教材で活動場所や内容を理解する。 ・ICT機器を用いる。 ・図書教材を利用する。	
3	社会人になる準備をしよう。	4	○3年生を送る会 ○卒業式事前練習 ▲卒業という節目を意識する。 ▲感謝の気持ちと新たな出発を決意する。	・門出のことばや歌の練習を繰り返し行い、自信をもって臨めるように支援する。	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	3年	教科等名	総合的な探究の時間
グループ名、人数	60名		担当教員	3年生教員	
ねらい	(1) 実社会や実生活と自己との関わりから自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。 (2) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。				
年間授業時数	35単位時間	使用教科書	なし		
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
4	オリエンテーション	3	○活動内容を知り、学習する課題を決めるきっかけとする。	・活動紹介スライドを写し、簡単に説明した後、希望アンケートをとる。	
5	以下の5グループに分かれて選択活動を行う。 ・情報 ・日本と世界 ・スポーツ ・芸術(音楽) ・芸術(美術)	4	【すべてのグループ】 ・ジャンル、歴史、今注目の種目や分野等について課題をもち、調べたりまとめたりし、発表する。	・生徒の主体的な活動を設定するよう工夫する。	
6		4	・生活に必要な身近な情報を調べる。 ・自然や日常生活をテーマに情報機器を使用して、動画など制作物にまとめる。	・情報を収集・整理するなどの学習活動を主体的に行えるよう、テーマ、教材等を工夫する。	
7		3			
9		3	・日本や世界の文化、地域のお祭りや伝統の遊びなどを調べる。体験する。	・体験活動・調査・研究、発表などを取り入れる。	
10		4	・ボールを使ったさまざまな集団スポーツ、各種トレーニング、ボッチャ交流会など		
11		4	・美術や音楽などの芸術作品について調べる、表現する	・活動のイメージがもてるよう、視聴覚機器を活用する。	
12		3		・自分の作品を紹介したり、友達の良い作品の良さを感じ取って感想を発表したりする場を設定する。	
1		3	▲課題解決のために調べたり体験をしたりし、実際に活動した感想を発表することができたか。		
2		3	▲問題意識あるいは興味・関心を持ち、情報を整理し、発表することができたか。		
3		1	▲友達と協力して調べ学習や発表に取り組むことができたか。		

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	3年	教科等名	作業学習
グループ名、人数	ビジネスチャレンジ班 16名		担当教員	清掃 ◎島山 事務補助◎矢島 喫茶接客◎横井	
ねらい	(1) 素材、道具・機械、工程・手順についての知識、理解を高め、基本的な技能(手・指・身体の使用方等)を高める。 (2) 職業生活に必要な返事・報告・相談等を必要に応じて活用できる力を身に付ける。 (3) 働くことの喜び、厳しさを体験することを通して、労働に対する意欲を高め、仲間と協力できる適切な人間関係を育む。				
年間授業時数	332.5 単位時間	使用教科書	なし		
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
4	オリエンテーション	3.5	○作業のルール、目標を確認する。 ▲作業班の約束を意識しているか。	・視覚支援を行い学習の効率化を図る。	
5 6 7 9 10 11 1 2 3	清掃 ・資機材の実践的な扱い方 ・校内清掃 ・外部清掃 事務補助業務 ・校内受注業務 ・定期作業 喫茶接客業務 ・校内カフェサービス ・接客マナー研修 ・仕入れ、在庫チェック 清掃 ・清掃技能検定練習 ・校内清掃 ・外部清掃 喫茶接客業務 ・外部での作業製品販売 ・喫茶接客サービス 技能検定練習	206	○校内外の清掃(教室・廊下・窓) ▲隅々まで丁寧に作業しようとしている。 ○各種資機材の正しい扱い。 ▲資機材を安全に扱っている。 ○作業を知り、作業技術を取得する。 ▲シュレッダー、裏紙作成、押印、用紙補充、入力業務を行えるか。 ○ビジネスマナーを身に付ける。 ▲自ら挨拶・報告・連絡・相談を行う。 ○カフェ営業による厨房、接客業務 ▲報連相を意識して、自ら進んで活動する。 ○マニュアルに基づいた業務を行う。 ▲衛生に気を付けて、接客ができる。 ○自ら在庫を点検票に記入する。 ▲点検票に正しく記入できる。 ○清掃技能検定 ▲正しい手順を理解し実践している。 ○地域の学校や公共施設の清掃活動 ▲日頃の学習を応用しながら行っている。 ○外部施設で飲み物・作業製品を販売する。 ▲笑顔、言葉遣い、姿勢に気をつけて接客を行っている。 ○検定のDVDを見て検定の流れを覚え練習する ▲上位級を目指し練習しているか。	・作業工程を分けて、覚えてから次の工程に移るようにする。 ・各事務機器のマニュアルを使い操作する。 ・作業管理表を使用し、確認する。 ・絵カードやマニュアルを使い手順を提示する。 ・衛生管理についてチェックシートを用い、徹底する。 ・検定用DVDを活用しながら実践を行う時間を設ける。 ・手順や方法をあらかじめ確認する。 ・自信のある工程を任せる。 ・役割分担、指示書、写真カードを提示する。 ・教員による見本を示す。	
	現場実習(10月～12月)	123	○現場実習において就労に見通しをもつ。 ○校外での清掃 ▲礼儀正しく挨拶できる。安全に作業できている。 ○清掃技能検定 ▲正しい手順を理解し実践している。	・しおりを使い事前学習を深めていく。 ・手順表を簡潔に表記する。 ・身だしなみチェック表を準備する。	